



ご意見や取り上げてほしいテーマをお寄せください。メールkurashi@chugoku-np.co.jp▽ファクス082(291)5828

教えてドクター 子どもの病気とケア

生まれたばかりの娘 難聴の疑い

88



娘が生まれてすぐ、産婦人科での検査で、難聴の疑いがあると言われました。どうすればよいですか。



広島市耳鼻咽喉科医会の福島典之先生

(新生児聴覚スクリーニング)が普及してきました。

が答えます。新生児千人に1人の割合で、難聴が出現するとされています。難聴の赤ちゃんを見つけて早期に療育するために、生まれてすぐに行う聴覚検査

早めに精密検査受けて



イラスト・さきもみ

定されており、日本耳鼻咽喉科学会のホームページで公開されています。

難聴の状態により対応はさまざまです。難聴が両耳なのか片耳なのか、難聴の程度がどのくらいかを把握することが重要です。

発達の遅れにつながることもあります。両耳の中等度以上の難聴があれば、なるべく早めに補聴器を装着し、言葉の情報を脳に伝えることが必要です。また、補聴器を使っても言葉が聞き取れないような重度の難聴では、「人工内耳」という特殊な機器を耳の奥に埋め込む手術をすることもあります。

赤ちゃんは耳から入って、言語が発達してきます。このため難聴への対応策を怠ると言語獲得が遅れるだけでなく、情緒障害や見掛け上の知的

